普及活動情勢報告（令和元年 12 月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

みんなで三原米の価値を高めよう　・・・三原米ブランド化研究会総会・・・

11 月 21 日、三原村農業構造改善センターで、三原米ブランド化研究会の総会を開催し、関係機関と生産者 18 名が参加しました。

この研究会は、三原村のコシヒカリのブランド化を図ることを目的に平成 31 年 3 月に三原村集活センター内に設立されました。総会では、試験販売の取り組みなど活動報告が行われました。

農業改良普及課からは、今年度の実証を基にした次年度の栽培指針を提案し承認されました。

今後も、良質米生産に向けた栽培指導を行い、ブランド化を進めてゆきます。

ショウガの収穫が始まりました　　・・・（農）小川アグリ・・・

11 月 22 日、黒潮町の集落営農組織（農）小川アグリが 2 作目となるショウガの収穫を行いました。

組合員からは、「去年は、病気がでて、種代ぐらいしか売り上げがなかったけど、今年はショウガも大きく、収量も多そう」という声がありました。

農業改良普及課は、引き続きショウガや水稲の栽培、経営管理、組織運営等を支援していきます。

集落営農法人のさらなる発展を目指して　・・・幡多地域集落営農法人連絡協議会・・・

11 月 26 日、幡多管内の集落営農法人を対象に、幡多地域集落営農法人連絡協議会を開催し、管内の 10 法人 16 名と関係機関 11 名が参加しました。

農業改良普及課からは、水稲の栽培管理や雇用確保、スマート農業等に関する情報提供を行いました。その後、広域連携や後継者育成に関する意見交換を行い、参加者からは意見や質問が出され、法人間の情報共有にもつながりました。

農業改良普及課は、今後も法人の経営安定につながる支援を続けていきます。

露地野菜を盛り上げよう　・・・大方支所露地部会通常総会・・・

11 月 27 日、黒潮町の大方支所で大方支所露地部会通常総会が開催され、生産者 10 名が参加しました。

農業改良普及課は、露地オクラでの天敵の実証試験の報告と GAP の取組について説明を行いました。熱心に聞く参加者もおり、理解が深まりました。

次年度から佐賀地区のシシトウ生産者が入会することが決定し、今後も引き続き部会の活性化につながるよう支援していきます。

農業を選んだきっかけは？　　・・・幡多農業高校での出前授業・・・

11 月 28 日､幡多農業高校園芸システム科の 1 年生 28 名を対象に、出前授業を行いました。

授業では、幡多地域に移住してきた農業者 2 名が講師となり、生徒に質問を投げかけながら、幡多地域、農業を選んだ理由、「想いをもって取り組むことの大切さ」を紹介しました。

生徒からは「イチゴを選んだ理由は？」「高校 1 年生の時は、どんなことを考えていましたか？」などの質問がありました。

農業改良普及課は、今後も生産者と農業高校との交流を行い、農業への関心が高まり、将来の新規就農者が育つようにように取り組んでいきます。

お金のなる樹に変えましょう　　・・・ふれあいパーク大月落葉果樹剪定講習・・・

12 月 4 日、落葉果樹剪定実技講習会を開催し、大月ふれあい市の出品者協議会員 28 名が参加しました。

まず､落葉果樹の特性や結果習性などについて資料を基に説明後、ほ場に移動し、ブドウやナシ、カキなどの剪定を行いました。

参加者からは「これまで分らずに剪定して、果実がならない年も多かった。特性を知ることで切る箇所が分かり易くなった。」との意見が出されました。

農業改良普及課は、地域の果実が一つでも多く、直販所等に出荷されお金に変えられるよう、栽培技術講習に取り組んで行きます。

ユビキタス環境制御システムとは何だろう？　・・・自作環境制御機器説明会・・・

12 月 4 日、ユビキタス環境制御システム（UECS）機器の説明会を開催し、キュウリ生産者、関係者含め 19 名参加しました。

農業改良普及課と㈱サカタのタネからシステムの説明を行い、自作式測定装置の部品や完成品の展示を行いました。説明後は、UECS 制御装置を稼働させているハウスで、ほ場主からの説明と意見交換を行いました。

参加者の中には導入の手軽さに対して汎用性・拡張性のよさに戸惑う人も見られましたが、UECS の可能性を感じたようでした。

農業改良普及課では UECS の周知をさらに進め、生産者の手が届く環境制御管理が実現するよう情報提供を行っていきます。

中期経営計画策定に向けて　　・・・(農)ふぁ一夢宗呂川・・・

12 月 5 日、(農)ふぁ一夢宗呂川の組合員を対象に、中期経営計画策定のための座談会を開催し、12 名が参加しました。

座談会では、大阪経済大学の山本教授から、集落営農の課題、展望、経営計画の重要性について、事例を交えた講義の後で、(農)ふぁ一夢宗呂川の経営計画策定に向けたワークショップを行いました。

組合員から「経理の一元化はできている」、「育苗ハウスがうまく活用できていない」など、組織運営に関する多様な意見が出され、強み・弱みが共有されました。

農業改良普及課は、今後も、(農)ふぁ一夢宗呂川の経営計画策定などの支援に取り組んでいきます。